

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の改訂について

1 概要

「総合戦略（2019改訂版）」について、P D C Aサイクルのもとで、施策や事業の効果検証を行うとともに、県議会でのご論議をはじめ、「地方創生“挙県一致”協議会」、パブリックコメントなどを通じ、県民の皆様のご意見を反映の上、新たな施策や事業を追加・拡充し、5カ年計画の総仕上げに向けて改訂を行う。

2 主な変更点

◆Society 5.0の推進を基本姿勢に反映

◆各種施策とS D G sの関連性を整理

◆主な重要業績評価指標数（K P I）：171項目⇒191項目（+20項目）

◆改訂に反映する主な施策や事業（抜粋）

【基本目標1】新しい人の流れづくり

○新たな地域づくりの担い手となる「徳島ファン」の創出・拡大に向けた取組みを推進

○消費者庁との共催により、「G20消費者政策国際会合」を開催し、これまで取り組んできた新次元の消費者行政・消費者教育の成果を世界へ向けて発信

【基本目標2】地域における仕事づくり

○新たな光（ポストLED）を活用した新製品を研究・開発し、県内の光関連産業の活性化を図ることで雇用創出を推進

○「とくしまリカレント教育支援センター（仮称）」を設置し、産学官連携により、県内のリカレント教育を推進することで、地域を支える産業人材を育成

【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり

○アクティブシニアの保育現場への就労を支援する「徳島県版『保育助手』制度」を創設し、保育現場の負担を軽減

○在宅で育児をしている家庭の負担感を軽減するため、子育て支援サービスに利用できるクーポンなどにより、子育て支援を強化

【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり

○「2030年」におけるスマート自治体への転換といった本県「自治体行政のあり方」を検討・研究する「とくしま自治体戦略2030構想研究会（仮）」を新たに設置

○主権者意識を高める教育の実施や「サイエンス・スペシャリスト」の育成による未来の徳島を牽引するトップリーダーの創出など高校教育の充実